

令和3年度 事務事業評価シート（1）

〔令和2年度事務事業〕

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	区域まちづくり事業（東区）			事業番号	213-002
担当部署名	東区役所	局		部	企画総務課 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール①住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3
			有	取組	地域住民のつながり強化、住民自治の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	堺市東区みんなで育むわがまちビジョン		
3	事業開始年度	平成 28 年度	点検年度	令和 5 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	各区
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	区民(東区人口 約8.5万人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	区民のニーズや区域の実情などをふまえながら、区役所が主体的に区域の特性をいかした魅力ある取組を推進することを目的とする。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	区役所や区民との協働による実行委員会等において、本庁施策との整合性を踏まえながら、東区の特性に適合する様々な事業を企画・立案して実施。また、地域の安全安心やまちづくりの観点などから、区役所として臨機の対応を希望する事案について、区長の裁量により、区役所予算を活用して事業所管課に対応を依頼し、事業を進める。 令和3年度予算から、区域まちづくり事業のうちのハード事業に係る区局連携分予算について、事業所管局へ移管しており、事業費が大きく減少している。
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	負担金 (東区まちづくり実行委員会)
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標				
	区民ニーズや区域の実情などをふまえながら、区役所がより主体的に区域のまちづくり事業を推進				
	当該目標を設定した理由	区域の現状や課題、特性を踏まえながら地域の課題解決・魅力向上に向けて取り組む必要があるため。			
	目標に対する実績	区の取組や調査を通じていただいた区民の意見や区域の状況を踏まえて、毎年度事業を執行している			
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標
	事業実施数		令和元年度	令和2年度	令和3年度
		目標値	25	28	20
		実績値	29	24	
		達成率	116%	86%	
当該指標を選定した理由	活動量を計るため (令和3年度からは、経費削減への取組として事業数を減とした目標とする)				
目標値の設定根拠・算出方法	各年度ごとに実施の必要性・重要性を精査して予算化した事業数のカウント				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	区域まちづくり事業（東区）	事業番号	213-002
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

（単位：千円）

事業費	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
13	事業費 (a)	161,569	140,180	193,930	108,920	33,148
財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債	66,000	84,300	99,400	73,200	
	その他（区民まちづくり基金等）	95,485	55,803			
	受益者負担金(使用料、手数料等)	54	35	50		50
	一般財源	30	42	94,480	35,720	33,098
14	人件費 (b)	31,250	30,900	32,450	32,450	32,450
15	年間経費(c)=(a)+(b)	192,819	171,080	226,380	141,370	65,598

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	決算				R2	決算		
16	報償費	R2	決算	22	22	使用料及び賃借料	R2	決算	9	9
		R3	予算	427	427		R3	予算	508	508
	旅費	R2	決算	0	0	工事請負費	R2	決算	86,917	21,417
		R3	予算	50	50		R3	予算	4,000	4,000
	需用費	R2	決算	3,105	3,105	備品購入費	R2	決算	95	95
		R3	予算	7,281	7,281		R3	予算	750	750
役務費	R2	決算	58	58	負担金、補助及び交付金	R2	決算	5,363	5,363	
	R3	予算	634	634		R3	予算	15,958	15,958	
委託料	R2	決算	13,351	5,651		R2	決算			
	R3	予算	3,540	3,490		R3	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
		① 事業実施数	事業
② 上記①にかかる年間経費	千円	171,080	141,370
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	5,899,310	5,890,417
備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和2年度の単位当たり経費は前年度より上回ったものの、コロナ禍における区の実情や区民ニーズを踏まえ、本庁所管課と連携しながら事業の中止や実施手法・スケジュールの見直し等を行ったことにより、効率的かつ効果的に事業を実施した。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	区民との協働を積極的に推進し、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い大きく変化した区域を取り巻く状況に応じて、柔軟に事業を進めることにより、区域の課題解決や魅力向上、地域の活性化に寄与した。
----	--